



お花を生けて 新年のお迎え

## 第4回定例会

会期12月5日  
～12月12日

### 目次

- 定例会概要…………… P2
- 一般質問（質問議員8人）…………… P3～11
- 議案第57号・討論…………… P12～13
- その他議案…………… P14
- 委員会報告…………… P15
- 議案審議結果…………… P16
- 会議等出席状況…………… P17

# 一般質問 我が町政を問う

## 一般質問大綱一覧

- 高橋 真理子 議員 ..... P4
- ★1 空き家等対策について
  - ★2 町内の道路や町関連施設等の照明器具のLED化について
- 伊藤 貞悦 議員 ..... P5
- ★1 町の人口減少対策（出生数）・子育てに関する政策について
  - ★2 町の活性化について
- 渡邊 千恵美 議員 ..... P6
- ★1 旧坂元中学校のさらなる利活用について
- 岩佐 秀一 議員 ..... P7
- ★1 ため池の管理について
  - ★2 森林の土地相続登記について
- 大和 晴美 議員 ..... P8
- ★1 起業や創業の支援について
  - ★2 奨学金の返還支援について
- 齋藤 俊夫 議員 ..... P9
- ★1 秩序や整合性のある町政運営について
- 遠藤 龍之 議員 ..... P10
- ★1 「重点支援地方交付金」の町の対応は
  - 2 組織内における諸問題への対応は
  - ★3 「大地の塔」トイレ設置の取り組みについて
- 岩佐 孝子 議員 ..... P11
- ★1 安全・安心なまちづくりについて

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。掲載項目以外の内容の詳細は、右の二次元バーコードから録画映像をご覧ください。➡



### ○一般質問とは

町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

# 自然いっぱい! 心わくわく 新天地へ!!

## ～令和6年 第4回定例会～

### 定例会概要

第4回定例会は12月5日から12日まで8日間の日程で開催されました。

今回の会議では、町長から提案された議案13件（条例・補正予算・人事案件等）のほかに、追加議案8件（条例・補正予算）、委員会発議2件（条例等）を審議し、うち「山元町学校教育基金条例」は産建教育常任委員会に付託され、審査の結果「可決すべきもの」となり、議案はすべて原案の通り可決しました。

また、8人の議員が、今後のまちづくりや町政運営について一般質問を行いました。

### ○一般会計補正予算概要

人事院勧告及び最低賃金改定に伴う人事費や福祉関係事業費の増額ほか、町の独自施策である「移住・定住支援事業」、「空き家家財道具等処分支援補助金」および「高齢者補聴器購入助成事業」に対しての交付額が当初想定より上回るため、補助交付額の上方修正が行われ、合計で約1億5,746万円が増額となり、総額約86億1,466万円となりました。

### ○主な補正予算事業

|                  |         |
|------------------|---------|
| ・移住・定住支援補助金      | 4,960万円 |
| ・空き家家財道具等処分支援補助金 | 156万円   |
| ・自立支援介護訓練等給付費    | 1,636万円 |



### ○議会ICT化へ ～タブレット導入に伴う条例等を改正～

#### ○山元町議会会議規則の一部を改正する規則（委発第3号）

議会における効率的な議会運営や議会活性化のため、タブレット端末を導入し活用を図ることから、議場内等への端末機持ち込みを可能とする仕組みを整えるとともに、議場へ入る際の「携帯品」の一部を改正。（施行期日 公布の日から）

#### ○山元町議会委員会条例の一部を改正する条例（委発第4号）

議会におけるタブレット端末の導入に伴い、大規模災害発生時等において、委員会等のオンライン会議の開催を可能とするための改正。（施行期日 公布の日から）



## 官民連携で空き家対策に取り組みを

### 町長 利活用に空き家バンクの登録を促す

問 昨年3月に「山元町空家等対策計画」がまとまったが、問題、課題解決に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 単独の実施計画は策定していないが、基本的な施策や計画の実施体制を定め、関連部署が連携し取り組む。各課連携の効果の一例として、令和6年度継続実施している、家財等処分補助の利用が想定より上回っている。

問 空き家のさらなる利活用に向け官民連携で取り組み、実績を上げている自治体も多いが。

答 できるだけ多く空き家バンクの登録を促し、官民連携で利活用に付けていく。

問 今の状況を見ると他の業務が優先されており、やる気や本気度が見えない。地域おこし協力隊を採用し協力体制をとる考えは

答 全国の実績で、移住定住施策や空き家の活用等に全体の30%が従事し活躍していることを把握している。本町でも、その分野では令和8年度以降に採用する方向性で詰めていく。

問 特定空家の行政代執行考慮の際に向けた条例について、今年度中としている条例制定の進捗状況は。

答 現時点では条例原案を作成しており、早期の制定に向け取り組んでいる。



たかはし まりこ 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 2027年度末LED化に向けて

### 町長 町内全ての道路照明灯は更新完了

問 町が管理する防犯灯や町内全ての道路照明灯のLED化が完了したことを確認したが、各地区の集会所については。

答 把握はしていないが、正副区長会議等で補助制度の周知等を深めたい。

問 中学校の更新進捗状況は。

答 山元中の普通教室、14室77台は今年度120万円で実施し、全て完了。残りの特別教室は11室131台で、今のところ約250万円で調整しており、更新は新年度に予定している。

問 小学校の進捗状況は。

答 山下第二小は全てLED化済み。他の山下第一小、山下小、坂元小の3校については、それぞれ8・4%、4・2%、1・3%であり、蛍光灯の数は総計で300個ほどになる。



LEDの灯り輝く!!太陽ニュータウン

問 更新費用の公的補助は。

答 「みやぎ環境交付金」を活用し、順次進めていく。

問 町関連施設のうち、中央公民館は今年度で完了するが、勤労青少年ホーム、歴史民俗資料館、伝承館の状況は。

答 それぞれ約30%更新済みで、今後かかる費用は、合算で約1千万円と見ている。

問 2027年度末までの更新は大丈夫か。

答 早めに更新できるように計画を立てていく。

## 人口減少（出生数）対策は十分か

### 町長 最重要課題とし内容を検討する

問 現状の人口減少（出生数）対策で十分と考えているのか。

答 人口減少や少子化は社会全体の課題であり、安心して子どもを産み育てられる環境整備が求められている。本町では「移住・定住支援補助事業」を積極的に展開してきた。この取り組みが功を奏して人口減少対策に効果があったと受け止めている。今後も社会情勢の変化に応じて内容を検討していく。

問 今後の人口減少対策の計画は。

答 出生数の増加や若年層の流入を促進し、人口の社会増を継続させることが重要であると認識している。現在、令和7年度から5年間の期間とした「こども計画」を策定中である。地域全体で子どもと若者を支える町を目指したいと考えている。

問 出生数の増加は結婚と密接な関係にある。婚活支援事業をどのように考えているのか。

答 本人が結婚の意思を示さないと前には進まない。種々の方法を考え意識の醸成を図りたい。

問 婚姻数の状況は減少傾向にある。価値観やライフスタイルの変化、経済的な不安といった社会的要因のほか、出会いの機会が少ないと分析している。今後は支援事業に取り組み、結婚意識の醸成を図っていく。

問 婚活イベントは今年1回の予定であるが、他の市町では様々な企画・運営をしているが、わが町も考えられないか。

問 少子化対策の具体的な支援や対策は。

答 新子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう経済的支援事業を展開すると共に、令和6年4月からこどもセンター内に「こども家庭センター」を設置し、相談体制を強化して取り組んでいる。



いとう てい 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 各種イベントへの支援は十分か

### 町長 今後様々な観点から検証する



トラック市の風景

問 町内で開催される各種イベントには多くの方が来町される、開催団体への支援は十分か。

答 各種団体等の協力を得ながら「活気」と「賑わい」の創出に努めてきた各種イベントは、町の交流人口拡大の一翼を担うものと受け止め、事業内容や規模に応じた一定の支援を行うと共に、各イベントが軌道に乗るまでの間、交付金額や期間に上限を設け支援してきた。今後の支援のあり方は交付実績や規模、町に対する波及効果等様々な観点から検証し、他のイベントとのバランスを確保しながら検討していく。

## 町民との連携や協同による利活用を

### 町長 地域と融和の取れる形で取り組む

問 旧坂元中学校、空き教室の利活用について、子ども教育支援施設（室内遊び場）や木工体験学習等に取り組む考えはないか。

答 町が進める子育て施策との相乗効果や、地域コミュニティの形成が図られることから、これらの活用にもつながるよう、働きかけていく。

問 旧坂元中学校を起業家や新規事業者、また、地域おこし協力隊が活用を検討する際、

町民との連携や協同がかなう利活用方法を考えているか。

答 1階に入ることになった2事業者（クラフトビル・洋菓子製造販売等）とも連携が取れる形である。一番は町の活性化につながる事を含めて、選定する際に相手方の事業内容を調査し、検討委員会の中で決定していく。

地域と融和の取れる形で取り組むことが大前提になる。

問 検討過程において



わたなべ ちえみ 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

地域住民との意見を具体的にどのように拾い上げて、つないでいくのか。

答 利用してくれる方を探しているわけではない。利活用したいという方の話を聞いて、それが地域にどのようなつながるかということと、進めているということになる。

問 旧坂元中学校の空き教室は、そのままにしておくのは非常に惜しい。わずかでもお金を生み出しながら、持続可能な地域の活性化の手助け、目指す方向、活動拠点として設けてはどうか。

答 何かをしたい町民の方でも、こういう形で利活用したいと申し出があれば検討したい。また、利活用について

はアンケート調査も行っている中で、住民の望みを把握した上で進めていく。

問 校庭の一番東側を健康増進のためにもパークゴルフに再開してはどうか。その際、愛好会や、地域の方々が自ら整備したいとするなら、優先で利用は可能か。

答 すぐに判断できるものではない。利用者を判断して決めていければと思っている。

問 旧坂元中学校の避難所としての位置づけは。

答 学校は閉校しているが、指定避難所に位置づけしている。



笑顔が寄り添い集う場所に！

## ため池の管理状況は

### 町長 構造物等は町、日常管理は地区に

問 町内にあるため池の数は。

答 農業用ため池は全体で89ヶ所、そのうち町が所有管理しているのは58ヶ所、個人の所有は31ヶ所である。

問 町所有のため池は、規模が大きく安全柵等も管理されているが、個人管理のため池は規模が小さく、安全対策等は未整備の状況が多い。管理指導をどのように行っているのか。

答 町管理のため池はどこに依頼しているのか。

答 本体及びゲートなどの構造物や、貯水能力の維持等は町が管理し、取水調整や草刈りなどの日常管理は地区

へ委託している。

問 ため池の管理費はどうなっているのか。

答 維持管理として、取水口の開閉の扱いも含め、年間1ヶ所当たり3万円を予算し地区に支払っている。

問 管理の状況から、増額を検討してはどうか。

答 3万円が妥当かどうか、一度精査をさせてもらいたい。

問 調整池として活用できるため池はあるのか。

答 ため池は農業用水の確保を目的に設置していることから、調整池として指定しているため池はない。

問 取水設備が正常に稼働していないため池の把握は。



ため池には近づかないで

## 森林の土地相続登記は

### 町長 定期的な登記相談日の利用を

問 義務化により共同所有森林の分筆登記が難しい土地所有者への案内は。

答 未相続や所有者が複数人おり、権利関係が複雑なため、町で行っている定期的な登記相談日の利用案内を行い活用してもらう。

問 申請の義務化により、申請を怠ったときは過料に処せられることとなるが、どのような場合か。

答 不動産の相続で、取得を知った日から3年以内に相続登記を行わなかった場合である。

## 創業する者に対し必要経費の補助を

### 町長 先進事例を参考に調査、研究する

問 起業や創業の支援について、商工会との連携は。

答 創業希望者等から相談があった場合は、常時、情報を共有しながら対応している。

問 起業や創業を考え、必要経費を補助する考えは。

答 支援のあり方について、先進事例を参考に調査、研究する。

問 亘理町新店舗運営支援事業補助金は、店舗の整備費及び賃借料の一部を助成すること

により、新店舗開店時の運営の支援を図るものである。このような補助をしては。

答 すぐ隣の町で先進的な支援事業をやっているの、できるだけ早い段階での支援を考えたい。

問 起業や創業に伴う空き家の改修費を補助しては。

答 空き家店舗等の解消に加え、創業者支援にもつながっている。効果的な手法について検討する。



住むならやっぱり山元町

## 企業の奨学金返還支援制度の周知を

### 町長 ホームページなどで企業へ周知する

問 UターンやJターンなどの移住に加えて、さらなる定住促進を図るため、町の財源を活用し奨学金返還支援に取り組んでは。

答 県内トップ水準の移住定住支援補助金を核とした定住促進施策を展開しているため、奨学金返還支援事業の導入については、慎重に調査、研究する。

問 県内で奨学金返還支援を実施しているのは仙台市、名取市のみで、石巻市、気仙沼市、登米市、栗原市、東松島市、そして丸森町は専門職に限定して実施している。町内に在住する奨学金返還者へ広く支援する制度にすべきでは。

答 本町も専門職で苦労しているので、慎重に調査、研究したい。

問 独立行政法人日本学生支援機構において、令和3年4月から企業が社員に代わって直接

返済できる「代理返還制度」が導入された。地元企業の雇用確保等にもつながるため、制度の周知を図るなど地元企業への導入を働きかけては。

答 企業等における利点や町の相乗効果も期待できるため、町ホームページや企業訪問を通じて地元企業へ働きかける。

問 例えば、秋田県能代市では、ホームページで日本学生機構とリンクして制度を紹介している。まずは町ホームページでこの制度を紹介すべきでは。

答 ホームページに掲載するなど、周知を徹底したい。

問 商工会を通じて広く呼びかけては。

答 町でできるいろいろなものを活用し、企業にお願いしたい。

## 法を順守し潔く「けじめ」を

### 町長 自分なりにけじめを付けてきた

問 管理職の停職処分を巡り、最初にすべき監査委員への報告は議会の後、マスコミ発表と同時にという対処は、

※監査委員を軽視している。

答 代表監査委員からも指摘があり、報告は事案により速やかな対応に努める。

問 町の長は、率先垂範（先頭に立って模範を示すこと）、法を守り制度を運用する責務がある。監査委員を蚊帳の外に置いた対処は、

職務怠慢で町政に対する信頼の失墜行為である。

答 順番を経て対応しているつもりで、以前も監査委員から早めの対応を指摘されたので、自分なりに適切に対応したと思っている。

問 監査委員の使命・役割からすれば、問題が発覚した段階で一報告を、必要に応じ中間報告をするなど、タイムリーな状況報告に務めるべきである。

答 重大事案であり内

容を精査してからでないと監査委員にも公表できないと判断した。

問 今回の不祥事の究明は、6月と9月の議会で問題発生時に監査委員や議会に対しタイムリーさに欠けた報告があったことを指摘した最中に行われている。そうした経緯・経過があるにも関わらず、本末転倒の対処は過失であり責任は重大である。

答 先程来、答弁しているとおり。

問 度重なる不祥事に対して、何ら「けじめ」を付けないまま、新たに発生した管理職の停職処分、その任命責任を含め就任後に発生している様々な不祥事を捉え、全体的な総括をすべきである。

答 就任後、事務処理ミスが相次いで発覚していることにお詫び申し上げ、再発防止に鋭意取り組み。本事業の任命責任を含めたけじめとして「特別職の給与カットに関する条例」を追加提案した。

問 指摘しているのは本会議の場を活用し、その都度けじめを付けること。不祥事の程度に応じ給与カット以外の方法として、タイムリーで丁寧な謝罪も考えられる。

答 その通りだと思う。

問 追加提案された条例は管理職の不祥事問題に対する管理監督責任に限定されており、様々な問題が重なっていることを踏まえたけじめとは言い難い。

答 指摘されている問題が全て問題なのかと言うところもある。そういうことも含めて私なりの判断、けじめの付け方としての総括となる。

※町の監査委員 地方自治法により規定されている長以外の執行機関。地方公共団体の財務に関する事務の執行及び地方公共団体の事務の執行を監査することを基本的な職務としている。



議員 藤 俊夫



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



「けじめ」とは…?

## くらしを支援する施策の早期実施を

### 町長 町民が必要とする支援計画を検討

問 長期にわたる賃金の低迷に物価高騰などが加わり、実質賃金が減少し続ける中、町民は非常に苦しい生活を強いられている。今般、重点支援地方交付金の増額が示された。政府は自治体に対し、早期の予算化に向けた検討を進めるよう要請している。国の動きに対する町の対応は。

答 内閣府から示された新たな総合経済対策について、速やかに制度設計や事業費の積算作業に入れるよう指示し、優先順位をつけたうえで、町民が必要としている実情に即した支援計画を取りまとめる。

問 配分額はどのぐらいを想定しているのか。

答 国全体での数字は示されており、自治体独自の支援策で町への配分額は5千万円前後とみている。

問 町民のくらしの現状は、物価高騰などにより本当に厳しく、いち早く支援する必要がある。

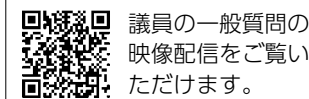
答 町民のくらしの現状は、物価高騰などにより本当に厳しく、いち早く支援する必要がある。



ある。町民にとって実のある、喜ばれる対策となるよう強く求める。



えんどう たつゆき 議員  
遠藤 龍之



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 「大地の塔」トイレ設置 早期実現を

### 町長 令和7年度当初予算に計上したい

問 この件については議会です3回取り上げられ、いずれも賛否同数、議長裁決でトイレ設置は否決された。しかし、ご遺族をはじめ多くの町民から引き続き設置の要望が寄せられているが。

答 再提案については7年度当初予算での計上を考えている。

問 この事業の遅れは、議会にも責任はあり、設置を求める住民請願を審査した常任委員会の運営にも問題を残している。委員会の中で反対意見があり、本会議で説明した際は「少数意見の留保」の手続きが必要とされるが、その手続きを行わず、委員会の「採択すべき」に賛成した委員2人が終了後に「少数意見の留保報告書」を提出した。明らかに規則に反するものだが、議長はこれを受理し、本会議で、賛否同数、議長裁決で不採択となった。これは新聞でも報道されたほど異例で、町民

からも批判の声が聞かれた。報道では、請願不採択と判断した議長と議員はいずれも町長選で議長として終わったことで、発言は認められない。

議員 問題は終わっていない。

（議長より発言の停止を求められ、暫時休憩となる。その後再開）

問 議会の動きがどうであったのかを検証したかった質問であったが、今でも多くの町民から強い要望がある。改めて早期実現を求める。

その他の質問

- ・町職員が働きがいを持てる職場づくりを
- ・長年続く職員の事務処理ミス、病気等による長期休暇や病氣退職など、職場の諸問題の改善への取り組みは

## 恩送りプロジェクトを推進すべき

### 町長 必要と考えている

問 東日本大震災後に、防災訓練を積み重ねてきているが、令和5年度訓練の検証をどのように生かしたか。

答 自主防災会などの関係機関と協議を重ね改善を図り、今年の訓練内容に反映した。

問 昨年の反省を生かし、安否確認のため受付名簿作成、チェック方式を取り入れた自主防災会が多くみられた。プライバシー確保等の課題はないか。

答 自主防災会などの関係機関と協議を重ね改善を図り、今年の訓練内容に反映した。

問 災害弱者の安否確認の際に生かすことで誓約を取り交わしている。震災から13年経過し、参加意識が薄れていないか。実施時期の配慮はしたのか。

答 各種配慮し、毎年実施している。

問 避難所では簡易ベッド組み立ての実施をした。職員が中心となっていたが、小中学生が参加しているの、リーダー養成、地域のレベルアップへ繋げるべき。

答 避難所では簡易ベッド組み立ての実施をした。職員が中心となっていたが、小中学生が参加しているの、リーダー養成、地域のレベルアップへ繋げるべき。

問 避難所では簡易ベッド組み立ての実施をした。職員が中心となっていたが、小中学生が参加しているの、リーダー養成、地域のレベルアップへ繋げるべき。

問 避難所では簡易ベッド組み立ての実施をした。職員が中心となっていたが、小中学生が参加しているの、リーダー養成、地域のレベルアップへ繋げるべき。

問 避難所では簡易ベッド組み立ての実施をした。職員が中心となっていたが、小中学生が参加しているの、リーダー養成、地域のレベルアップへ繋げるべき。

問 避難所では簡易ベッド組み立ての実施をした。職員が中心となっていたが、小中学生が参加しているの、リーダー養成、地域のレベルアップへ繋げるべき。

問 庁舎内での防災訓練の内容は。

答 地震発生後、2階での火災発生を想定した訓練を実施した。シエイクアウト、消防署へ通報、避難誘導、消火訓練を実施した。

問 課題については。

答 職員の初動対応、来庁者の安全確保が最優先である。

問 防災訓練時における検証から、庁舎建設時から数年経過しており改修箇所が出てきているのではないか。

答 危機管理意識を持ち訓練を実施すると共に、庁舎については年度計画を立てながら対策を講じ、対応していきたい。

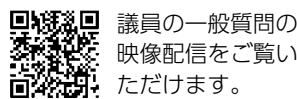
問 悪天候時や全体での訓練はしているのか。

答 天候や全体訓練について考慮していきたい。子どもたちを安全に避難させるための訓練である。

問 定員数を見直す必要性があるのでは。



いわさ たかこ 議員  
岩佐 孝子



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

小・中学校では、命を守る、防災意識を高めるため小5、中3を対象に遺構中浜小で研修をしている。今後も継承していくのか。

小・中学校では、命を守る、防災意識を高めるため小5、中3を対象に遺構中浜小で研修をしている。今後も継承していくのか。

小・中学校では、命を守る、防災意識を高めるため小5、中3を対象に遺構中浜小で研修をしている。今後も継承していくのか。

小・中学校では、命を守る、防災意識を高めるため小5、中3を対象に遺構中浜小で研修をしている。今後も継承していくのか。



山二小児童の募金活動

# 議案提出の方法に問題はなかったか？

# 議案第57号 原案可決…

議案第57号 採決表（賛成6 反対5）

| 氏名   | 竹内 和彦 | 高橋眞理子 | 遠藤 龍之 | 丸子 直樹 | 大和 晴美 | 渡邊千恵美 | 品堀 栄洋 | 岩佐 秀一 | 齋藤 俊夫 | 岩佐 孝子 | 伊藤 貞悦 | 菊地 康彦 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 採決結果 | ●     | ○     | ○     | ○     | ●     | ●     | ○     | ●     | ●     | ○     | ○     | —     |

賛成 ○ 反対 ● 議長 —



## 討論

## 原案に賛成

岩佐 孝子 議員

隣接市町村、事例をも勘案し賛成

不祥事については、前執行部からの負の部分较重なり、現執行体制で発生したものだけではない。発生源を見ると過去のものもあり現執行部だけの責任ではない。現執行部はその都度対応、対処している。

隣接市町村との調和、過去の事例を勘案しており、原案に賛成する。

遠藤 龍之 議員

提案内容に問題はなし

執行部の提案理由、そして先程来からの質疑応答から問題があるとは受けとめられない。町長自ら責任を負うとした提案であり、この件に関しては、これまで諸々の場面で説明されており、提案されている内容に大きな問題はない。

やるべきことはやってきたと受け止め賛成の討論とする。

高橋眞理子 議員

前町政の事例を参考にした

原案には賛成である。この議案に関しては、一般質問や質疑においても、反対する議員と執行部とのやりとりを何度も聞かされた。同様のことは前町政の時にもあって、その時の事例や近隣自治体の事例も参考にしながら、町長はじめ執行部は同じ事を繰り返し説明し、同意を求めた。

私はその説明を受け、理解できることから、原案に賛成するものである。

伊藤 貞悦 議員

提案方法に問題はあるが、原案賛成

議案提案の方法（人事院勧告の給与アップと町長・副町長の給料減額を一緒に論ずること）に多少の問題がないわけではないが、これまでの執行部の対応やこれに至るまでの経過説明でやむをえないものと判断し原案に賛成する。

今後、議案の提案や進め方には十分配慮していただきたい。

## ○議案第57号 山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

### 提案理由

人事院勧告に基づく国家公務員の給与の改定に準拠し、本条例で定める特別職の期末手当の改定並びに公文書偽造及び行使等の不適切な事務処理に関し、職員の管理監督者としての責任を重く受け止め、町長及び副町長の給料月額を減額するため提案するもの。

### 改正内容

- 1 期末手当の改定（年間支給月数3.40月分を3.45月分に引き上げ）

| 年度         | 6月期        | 12月期           |
|------------|------------|----------------|
| 6年度 期末手当   | 1.70月（支給済） | 1.75月（現行1.70月） |
| 7年度以降 期末手当 | 1.725月     | 1.725月         |

- 2 町長及び副町長の給料月額減額

| 区分  | 給料月額     | 減額率（月額）      | 減額後給料月額  |
|-----|----------|--------------|----------|
| 町長  | 828,000円 | 10%（82,800円） | 745,200円 |
| 副町長 | 627,000円 | 10%（62,700円） | 564,300円 |

※減額する期間 令和7年1月1日～2月28日（2カ月）

## 議論 議案に対する質疑

問 人事院勧告に伴う給与引き上げと、職員の不祥事に伴う給与減額と相反するものが一括提案されている。その理由を確認したい。

答 同じ条例の改正と提案日が同じということ一本にまとめることが通常の提案の仕方と考えた。管理職に対する停職6ヶ月の重い懲戒、及び分限処分に伴った特別職の管理監督者としての処分の重さの妥当性はどのように判断されたのか。

問 今回の減額期間・割合については、本町の過去の履歴を確認し近隣自治体の事例を参考に判断した。条例全体について、一般質問に対する答弁と提案理由に整合性が全くとれておらず審議するには及ばない。したがって取り下げるべきである。

答 これまでの我が町の前例等を調べ提案している。取り下げは考えていない。

## 討論

## 原案に反対

大和 晴美 議員

齋藤 俊夫 議員

相反する内容が一括提案されている

主張と行動が食い違う提案理由

先ほどの質疑に対する答弁では、管理職に対する重い懲戒及び分限処分に見合った特別職の責任となっていないように思えない。加えて、人事院勧告に伴う給与の引き上げと懲戒処分に伴う給与の減額という相反する内容が一括提案されていることに違和感を感じる。以上のことから反対する。

また、給料減額の内容は、管理職の懲戒処分等に加え、相次ぐ不祥事を含めた全体総括的な管理監督責任として、相応しいものになっているとは、到底思えない。

## その他の議案

### 条例

○山元町学校教育基金条例（議案第46号） ※産建教育常任委員会へ付託  
学校教育及び学校施設の充実を図るための必要な資金の積み立て並びに基金の処分について必要な事項を定めた条例（施行期日 令和7年3月31日）

関連条例の廃止

- ・山元町奨学基金条例
- ・山元町奨学金貸与条例

○山元町課等設置条例の一部を改正する条例（議案第47号）

組織機構の再編に伴う改正（施行期日 令和7年4月1日）

| 改正前     | 改正後           |
|---------|---------------|
|         | デジタル政策推進課（新設） |
| 保健福祉課   | （再編）          |
|         | 地域福祉課（新設）     |
|         | 健康推進課（新設）     |
| 商工観光交流課 | （再編）          |
| 農林水産課   | （再編）          |
|         | 産業観光課（新設）     |
| 建設課     | （再編）          |
| 上下水道事業所 | （再編）          |
|         | 建設水道課（新設）     |
|         | 施設管理課（新設）     |

※新設及び再編の課のみ記載

|             |   |                                                                  |
|-------------|---|------------------------------------------------------------------|
| 議案第47号 主な質疑 | 問 | 組織機構の再編に伴う改正は、もう少し熟慮する必要性があるのでは。                                 |
|             | 答 | 現在の業務を減らすわけではなく、課の体制を強化し協力体制も整えることで、業務量の変更は考えておらず、課題は解消できる考えである。 |

### 人事【敬称略】

○農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて  
【同意2号】  
関 博 孝氏  
(小平区) を同意

### 表彰者紹介

おめでとうございます

「文化の日」県知事表彰

阿部 均氏（中山区）  
（地方自治功労）



町議会議員を6期にわたり務められ、また、平成23年から令和元年までの8年間は議長として、地方自治の振興発展に尽くした功績がたたえられ受賞されました。

議会議員在籍期間（24年）  
平成11年5月1日～  
令和5年11月12日

## 町の仕事をチェック!!

### 総務民生常任委員会



新しいぐるりん号

#### ◇公共交通事業

##### 調査内容

公共交通事業計画を基に作成された運行概要等について調査した。

##### 意見

令和7年1月から新運行計画による町民バスの実証運行が開始される。予約運行型の指定乗降場所や定期運行型のダイヤ、料金改定等については、町民のニーズに対応した運行であるのか、利用者状況を注視し、適正化を図るべきである。

#### ◇国民健康保険事業

##### 調査内容

国民健康保険事業と税率改正の検討について調査した。

##### 意見

国の方針により県が推進する国保税県内統一化や、子ども子育て支援金負担金などの動向を踏まえた段階的な税率改正の検討がなされている。町民被保険者の生活実態を見据え、改正の理由を明確に示し、対応すべきである。

### 産建教育常任委員会



#### ◇就農者数の現状と後継者確保対策

##### 調査内容

就農者数の推移、町で実施している担い手確保を目的とした各種補助制度、及び今後の方針について調査した。

##### 意見

これまでの取り組みや今後の計画等、現状の分析や検証を詳細に実施し、より効果がある事業運営を早急に工夫する必要がある。

#### ◇再編小学校

##### 調査内容

再編小学校在り方検討委員会の検討結果について調査した。

##### 意見

小中一貫で教育を行うこと、施設は一体型または併設型が望ましいという同検討委員会での一定の方向性が示された。校地選定や財源について、町執行部でイメージしている「まちづくりの観点」との乖離がないように、教育委員会と町長部局での情報共有を密に行い検討を継続していくべきである。

議員の会議等出欠状況

令和6年10月1日～12月31日 出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：－

| 月  | 日                    | 曜日 | 開催会議名等                     | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 6     | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 13   |
|----|----------------------|----|----------------------------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|
|    |                      |    |                            | 竹内和彦 | 高橋眞理子 | 遠藤龍之 | 丸子直樹 | 大和晴美 | 渡邊千恵美 | 品堀栄洋 | 岩佐秀一 | 齋藤俊夫 | 岩佐孝子 | 伊藤貞悦 | 菊地康彦 |
| 10 | 2                    | 水  | 総務民生常任委員会                  | －    | －     | ○    | －    | －    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | －    | －    |
|    | 4                    | 金  | 広報・広聴常任委員会                 | －    | ○     | －    | ○    | －    | －     | ○    | ○    | －    | －    | ○    | －    |
|    |                      |    | 仙南・巨理地方議会議長会議              | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |
|    | 9                    | 水  | 宮城県議会と仙南・巨理地方町議会議長会との意見交換会 | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |
|    | 16                   | 水  | 広報・広聴常任委員会                 | －    | ○     | －    | ○    | －    | －     | ○    | ○    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 17                   | 木  | 全員協議会                      | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|    | 23                   | 水  | 広報・広聴常任委員会                 | －    | ○     | －    | ○    | －    | －     | ○    | ○    | －    | －    | ○    | －    |
| 11 | 29                   | 火  | 産建教育常任委員会                  | ○    | ○     | －    | ○    | ○    | －     | －    | －    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 5                    | 火  | 県議長会広報研究会                  | －    | ○     | －    | ○    | －    | －     | ○    | ○    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 8                    | 金  | 県議長会正副会長監事会                | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |
|    | 11                   | 月  | 総務民生常任委員会                  | －    | －     | ○    | －    | －    | ○     | 欠    | ○    | ○    | ○    | －    | －    |
|    |                      |    | 産建教育常任委員会                  | ○    | ○     | －    | ○    | ○    | －     | －    | －    | －    | －    | ○    | －    |
|    |                      |    | 広報・広聴常任委員会                 | －    | ○     | －    | ○    | －    | －     | 欠    | ○    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 12                   | 火  | 全員協議会                      | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|    | 13                   | 水  | 県関係国会議員との意見交換会             | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |
|    | 14                   | 木  | 第68回町村議会議長全国大会             | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |
|    | 18                   | 月  | 広報・広聴常任委員会                 | －    | ○     | －    | ○    | －    | －     | ○    | ○    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 19                   | 火  | 議会運営委員会                    | －    | －     | ○    | ○    | ○    | ○     | －    | －    | ○    | －    | ○    | ○    |
|    | 22                   | 金  | 県知事と町村議会議会正副議長との意見交換会      | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | ○    | ○    |
|    |                      |    | 県町村議会議長会議                  | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |
|    | 28                   | 木  | 全員協議会                      | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|    | 29                   | 金  | 議会運営委員会                    | －    | －     | ○    | ○    | ○    | ○     | －    | －    | ○    | －    | ○    | ○    |
| 12 | 第4回定例会（12/5.9.10.12） |    |                            | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|    | 6                    | 金  | 産建教育常任委員会                  | ○    | ○     | －    | ○    | ○    | －     | －    | －    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 11                   | 水  | 総務民生常任委員会                  | －    | －     | ○    | －    | －    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | －    | －    |
|    |                      |    | 産建教育常任委員会                  | ○    | ○     | －    | ○    | ○    | －     | －    | －    | －    | －    | ○    | －    |
|    | 13                   | 金  | 全員協議会                      | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|    | 18                   | 水  | 議会運営委員会                    | －    | －     | ○    | ○    | ○    | ○     | －    | －    | ○    | －    | ○    | ○    |
|    | 19                   | 木  | 全員協議会                      | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|    | 20                   | 金  | 巨理地方町議会議長会定例会              | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | ○    | ○    |
| 12 | 23                   | 月  | 仙南・巨理地方議会議長会議              | －    | －     | －    | －    | －    | －     | －    | －    | －    | －    | －    | ○    |

議長交際費

| 区分  | 10月    |                            | 11月   |            | 12月   |              |
|-----|--------|----------------------------|-------|------------|-------|--------------|
|     | 金額(円)  | 内 容                        | 金額(円) | 内 容        | 金額(円) | 内 容          |
| 会費  | 7,000  | 宮城県議会と仙南・巨理地方町議会議長会との意見交換会 | 0     | －          | 4,000 | 仙南議長会議 情報交換会 |
| 慶弔  | 21,500 | 元議員香典、生花                   | 5,000 | 巨理町議会元議員香典 | 0     | －            |
| その他 | 0      | －                          | 0     | －          | 0     | －            |
| 合計  | 28,500 |                            | 5,000 |            | 4,000 |              |

令和6年 第4回定例会 議案等の審議結果

| 議案番号   | 議 案 名                                          | 結 果             |
|--------|------------------------------------------------|-----------------|
| 報告第11号 | 専決処分の報告について（物品購入契約金額の変更）                       | 報 告             |
| 承認第11号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度山元町一般会計補正予算・専決第1号）      | 承 認             |
| 議案第46号 | 山元町学校教育基金条例【P14に記載】                            | 可 決<br>(委員会付託)  |
| 議案第47号 | 山元町課等設置条例の一部を改正する条例【P14に記載】                    | 可 決<br>(全会一致)   |
| 議案第48号 | 山元町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例          |                 |
| 議案第49号 | 山元町農村集落多目的センター設置条例の一部を改正する条例                   |                 |
| 議案第50号 | 公の施設の指定管理者の指定について（山元町共同作業所）                    |                 |
| 議案第51号 | 公の施設の指定管理者の指定について（山元町デイサービスセンター知楽荘）            |                 |
| 議案第52号 | 令和6年度山元町一般会計補正予算（第3号）【P2に記載】                   |                 |
| 議案第53号 | 令和6年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）                  |                 |
| 議案第54号 | 令和6年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）                    | 可 決<br>(賛成6反対5) |
| 議案第55号 | 令和6年度山元町水道事業会計補正予算（第2号）                        |                 |
| 議案第56号 | 山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例                       |                 |
| 議案第57号 | 山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例【P12に記載】 |                 |
| 議案第58号 | 山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例        | 可 決<br>(全会一致)   |
| 議案第59号 | 令和6年度山元町一般会計補正予算（第4号）                          |                 |
| 議案第60号 | 令和6年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）                  |                 |
| 議案第61号 | 令和6年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）                    |                 |
| 議案第62号 | 令和6年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）                        | 同 意             |
| 議案第63号 | 令和6年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）                       |                 |
| 同意第2号  | 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて【P14に記載】              | 可 決<br>(全会一致)   |
| 委発第3号  | 山元町議会会議規則の一部を改正する規則【P2に記載】                     |                 |
| 委発第4号  | 山元町議会委員会条例の一部を改正する条例【P2に記載】                    |                 |

請願・陳情の受理

| 陳情番号  | 件 名                                                    | 陳情者等の氏名                            | 結 果 |
|-------|--------------------------------------------------------|------------------------------------|-----|
| 陳情第5号 | 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情 | 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会<br>代表 丸山 治章 | 配 付 |
| 陳情第6号 | 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書            | 宮城県春闘共闘会議<br>代表幹事 高橋 正行            | 配 付 |
| 陳情第7号 | 「安全・安心の医療・介護・実現のための人員増と処遇改善を求める意見書」採択を求める陳情書           | 宮城県医療労働組合連合会<br>執行委員長 遠藤 麻由        | 配 付 |

すきです  
Yamamoto

## こんにちは！『なないろ子どもカフェ』です。

いちりんの花 スタッフ 吉田 直子

私たち『なないろ子どもカフェ』（子ども食堂）は、子どもたちの未来に必要な「食」を支えることを目標に2023年10月に事業を始めました。コロナ禍の影響で収入減や物価高騰により子育てに不安や孤立を感じる方が身近にいることを知り、より多くの方の支えになりたいという思いから、皆様のご支援により、事業を開始することができました。

山元町社会福祉協議会、フードバンク、企業、農家の方から協力を得て、米や食材、お菓子や、SDGsの観点から、廃棄される食品などを月に一度、約25世帯、50名に配布しています。特産の

いちごやりんごを使ったデザートやピザ作り、バケツで稲を育て収穫した米でおにぎり作り等、親子で楽しめるイベントも開催しています。

スタッフに保育士・栄養士がいますので、子育てについての相談も行っています。

この事業をより多くの皆様に知っていただき、少しでも心安らげる場所になれば幸いです。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします！

開催場所：山元町山寺字畑中12-1

開催日時：第2月曜日 15：00～17：00

(変更あり)

## ◆◆お知らせ◆◆

|    |    |    |      |     |
|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 伊藤 | 品堀 | 丸子 | 高橋   | 岩佐  |
| 貞  | 栄  | 直  | 眞理子  | 秀一  |
| 悦  | 洋  | 樹  |      |     |

〈議会広報・広聴常任委員会〉

### 令和7年 第1回山元町議会定例会 (予定)

会期：2月28日(金)～3月21日(金)

開会：午前10時

本会議：2月28日・3月4日・5日・7日・21日  
(一般質問：3月4日・5日)

### 議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



### 編集デスク

令和7年、最初の議会だより発行となりました。本年もよりしくお願いいたします。

昨年は、元日に能登半島地震という大きな災害があり、また、物価高騰による家計等への影響が続いた一年でした。

今年も議員一同、町民の皆様と一緒に笑顔あふれる、災害のない、素敵なまちをつくっていききたいと思えます。

さて、この議会だよりは、皆様に本会議等の様子をわかりやすく伝えるため、広報委員が一丸となって編集しておりますが、特に一般質問や討論等は、各議員の思いを伝えるため、議員本人が作成しております。

引き続き多くの皆様に読んでいただけるように、努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(委員 品堀 栄洋)